

# 図書館だより

vol.33  
No.1

Bulletin of the Hokkai-Gakuen University Library

北海学園大学附属図書館報 第33巻1号(通巻197号) 2011.4.1

## CONTENTS

にぎやかな図書館 小島康次.....	2
竹内潔 樽見弘紀 田中仁史 田村卓哉 瀬戸治 私が薦めるこの1冊 .....	3
2010年度図書館貸出ランキング .....	6
初めての人のための図書館利用ガイド.....	8
イチオシ! データベース紹介! 新聞編.....	10
MyLibrary紹介 .....	11
アルバイトトーク/図書館からのお知らせ/編集後記 .....	12



## にぎやかな図書館

図書館長

文=小島康次

(こじま やすじ/経営学部教授)

図書館を利用したことがないという方はいないでしょう。しかし、いつも利用しているいわゆるヘビーユーザーもまたそれほど多くはないのではないでしょうか。しばらく図書館から遠ざかっている方々は情報検索の方法が多様化した今日、何かを調べるのにわざわざ図書館に足を運ばなくても用が足りると考えてはいませんか？ たいていの事柄ならば、インターネットで検索すれば、おおよその答えは得られます。確かに便利な世の中になりました。

かく言う私も、図書館長を拝命するまでは、そうした図書館にとって不心得な輩の一人でした。言い訳ではありませんが私だけではないのです。このところ、立場上、図書館の将来像についての講演やシンポジウムに顔を出す機会がありますが、聴いてみると結局、図書館には最近行かなくなった、図書館が情報検索だけの場である時代は終わった、というような話ばかりが耳に飛び込んできます。

それでは図書館はもう必要ない施設になりつつあるのでしょうか。21世紀に図書館は消滅する運命にあるのでしょうか。もし、情報検索と冊子体（ハードコピー）の保管だけを業務とするこれまでのスタイルを固守するならば、恐らく図体が大きくなり過ぎて環境に適應できなくなった白亜紀末の恐竜のように絶滅する運命なのかもしれません。

これから述べる図書館像、それは未来の図書館です。こんな図書館があつたらいいだろうな、という想像上の図書館です。ですから、現在の図書館がそうだと勘違いして館員に大目玉を喰っても責任は取れませんので悪しからず！

友人と本・DVDについて語り合う図書館、こんな図書館があつたら良いと思いませんか。面白い本を

読んで、興味深い記述に出会ったら他の誰かに伝えたいと思うのが自然な感情でしょう。「おしゃべり」は人間の特権です。遺伝子を98%ヒトと共有するチンパンジーも、チェスのチャンピオンを負かす知能をもったコンピュータも、「おしゃべり」だけは苦手です。チンパンジーは手話を使って、コンピュータはそれらしいプログラム上で、多少会話もどきのやり取りはできますが人間同士のおしゃべりには到底及びません。しかも、人間が相手をしなければ成り立たないのです。人間はチンパンジー相手でも、コンピュータ相手でもおしゃべりができる、いわばおしゃべりの名人だとも言えます（大学の授業中にこの人間の特技を活かす学生に対して教師は残念ながら寛容にはなれませんが…）。最近、目の前に相手がなくても、ウェブ上でおしゃべり（チャット、ツイッター）をする人さえ増えています。

一人静かに読書に耽りたい人もいるのでは？ 確かにそうですね。これでは、孤独を愛する読書家の居場所がなくなってしまいます。ご心配なく。おしゃべり空間から少し離れた場所に「静寂コーナー」が設けられています。ここだけはおしゃべりが禁止されていて、昔ながらの静かな読書が保証されているのです（何だか「喫煙室」みたいで肩身が狭いような気もしますが…）。

本や資料を手元に置きながら友人とおしゃべりするとお腹がすいてきます。すぐ横にコンビニが併設されています。好きな軽食を買って飲み物を机の上に、楽しいおしゃべりを続けます。地下に行けばちょっとした食事ができるカフェテリアも完備されています。

コンピュータで資料や情報の検索が簡単にできる

なら、司書によるレファレンス・サービスは必要なくなるのでしょうか。これも違います。レファレンス・サービスは本や資料がどこにあるかを教えるだけでなく、利用者の多様な質問に対し、より専門的な知識と膨大な資料を駆使してアドバイスを提供するのが主たる仕事になります。また、このサービスは自宅にいてもインターネットを通じて受けられます。司書は今以上にプロフェッショナルとしての位置づけが明確にされます。また、それだけ資格取得も難しくなります。

自分がすでに読みたい本がある場合、それを探すことで目的は達せられますが、まだ自分が知らない面白い本はないかという探し方もあって良いのではないのでしょうか。そのために充実した企画展示コーナーが常設されます。3~4か月でテーマが変わって新たな展示になるので、利用者は常に新しい刺激を受けることができます。こうした展示も司書の腕の

見せどころです。

お気づきの方もいるかもしれません。この「想像上の図書館」は筆者の貧困な想像力の産物ではなく、実はすでに実際に存在する図書館のアウトラインを叙述したものに過ぎません。欧米の図書館はすでにこのような方向に舵を切っているのです。参考にした文献は、吉田右子著『デンマークのにぎやかな公共図書館』（新評論）です。やがて、我が国の図書館もこのような姿に近づいていくものと思われま。しかし、それは図書館がただ楽しい場所になればいいというのではなく、知を共有するコミュニケーションの場所として、また、生涯にわたる学習の場所として機能するものでなければなりません。

新たな知のグローバル化に対して、流行として受け入れるのではなく、利用者が自立した個人として能動的に価値の共有ができるかどうかが問われているように思います。

## 私が薦める この1冊

Alison Meghee & Peter H. Reynolds, 著  
『Someday』 (Atheneum Books for Young Readers, New York, 2007)

文= 竹内 潔

(たけうち きよし/人文学部教授)

大学生として過ごす時期は、人としての感性、知性、また総合的な人間性などの大事な部分が形になる時期です。そのため、個々人がこの時期の自分の「知性」磨きに真摯に取り組むことがとても重要なことです。これまで、人間は自然の中に科学知識、科学技術を取り入れながら、自然との調和を目指してきました。未来に向かう私たちには、科学的な知識の一層の集積と、知的フィールドへのフィードバックが期待されています。こうした「生命の連続性」を考えるための素敵な一冊を紹介します。

2007年に出版された「Someday」は、英語の絵本です。女の子の誕生から、その子が結婚して母親になり、女の子のお母さんがおばあちゃんになるまでの「生命の繋がり」のお話です。とても素敵なイラストと、一ページに一行の愛にあふれたフレー

ズが、この本を読むたびに、その時々で異なる意味を伝えてくれ、豊かな想像力をも楽しめる絵本です。

プロテニスプレーヤーだった杉山愛が、本当にひどいスランプで落ち込んでいた時に、母親に相談すると、「大丈夫、私には出口が見えるわよ」という母の言葉に励まされたそうです。また、最近の話題曲「トイレの神様」(植村花菜)は、孫が、おばあちゃんとの思い出を歌ってヒットしています。こうした「生命の繋がり」や「心の繋がり」は、素晴らしい「生命の連続性」の一部なのだとして強く感じることができるでしょう。新入生で「Someday」の琴線に触れ、4年間の学習成果が成就した卒業時にもう一度読み返して、そこから別な旋律を感じとってくれると嬉しいですね。

私が薦める  
この1冊

ポール・オースター著（柴田元幸訳）  
『ムーン・パレス』（新潮文庫、1997年）

文＝樽見弘紀

（たるみ ひろのり／法学部教授）

時にあの村上春樹ともタッグを組む翻訳家、柴田元幸の手なる米国人作家、ポール・オースターもの訳出・出版がここにきて、また相次いでいる。原作を離れても柴田の訳文自体がスタイリッシュで魅力的だが、そこはやはり日本でもオースター人気が根強いということがあるのだろう。

自慢のようで申し訳ないが（自慢だが）、昨年僕は英文の原作を、題名の由来ともなっているニューヨーク・コロンビア大学そばに実在したという中華料理店「ムーン・パレス」近くのスタバに数日通いつめて一気呵成に読んだ。読了した達成感と高揚感とで、今はもうない「ムーン・パレス」の辺りをしばし彷徨したのだが、コロンビア大生の主人公、マーコ・フォッグと、フォッグの人生に何かと謎を吹かけてくる車いすの老紳士、トマス・エフィングの息遣いが聴こえるようで、胸騒ぎさえ覚えた。

一生のうち、真のメンター（よき師）だと心から思える人に一人でも出会えたのなら幸せである。僕の場合、例えば、結婚相手に漏れなくついて来た岳父、星野陸雄（享年83歳）がさしずめエフィングだ。

老獺である。気難しい。すぐ心変わりする。それでいて懐深く、温かい。

月並みだが、人は独りではさほど遠くへは行けない。折に触れ飛びつきりピターな言葉で——絶妙な諧謔も一緒に——ほんと背中を押してくれる者の存在がこの上なく有り難い。

そんな憎つたらしくも愛すべきオヤジや先生や近所のオジサンに心当たりがないなら、（本の方の）『ムーン・パレス』を読もう。百頁ほど読み進めば、やがてエフィングが現れてあなたをもしりじりと苦しめる。そして、あなたはマーコ・フォッグと一緒に茫漠たる荒野を目指して旅に出る。

私が薦める  
この1冊

宇野哲人著  
『論語新釈』（講談社学術文庫、1980年）

文＝田中仁史

（たなか ひとし／経済学部准教授）

「古典」という言葉で、読者は何を想像するだろうか。もしかすると、大昔の古くさいお話や、堅苦しいお説教、といった否定的なイメージが湧いてくる人も中にはいるかもしれない。しかし、よく言われるように、古くから読み継がれてきたということは、それだけ多くの人の目に触れ、心を引きつけてきた証拠でもある。「古きをたずねて新しきを知る」という言葉の通り、古典を紐解くと、現代でも役に立つ教えに出会える場面は多い。

そんな古典の代表格といえば、やはりなんといつても『論語』だろう。『論語』とは何かについては、おそらく説明の必要がないと思う。（上の「古きをたずねて新しきを知る」も、元は『論語』の言葉だ。）しかし、あまりにも有名な一方で、全体を読んだことがあるという人は、今日では意外と少ないかもしれない。

私自身は、大学生のときに『論語新釈』を買って読んだのだが、改めて、そのボロボロの本を開いてみると、あちこちに汚い字や線で書き込みが残っていた。いま、当時と比べて、孔子の言う「君子」に少しでも近づくことができたのかは分からないが、少なくともその時の自分を見つめ直すきっかけはなったのだろう。今でもパラパラとその本をめくると、日々の自分を反省させられる言葉をいくつも目にするができる。

聞くとところによれば、近年、巷では、静かな『論語』ブームらしい。個人主義が定着した現代は、自分とは異なる価値観をもつ人との摩擦も生じやすい世の中。そんな難しい時代を生きる人々に、「仁」（相手への思いやり・敬愛）の大切さを説く『論語』は、「新しきを知る」手がかりを与えてくれているのかもしれない。

私が薦める  
この1冊

吉野源三郎著

『君たちはどう生きるか』(岩波文庫、1982年)

文=田村卓哉

(たむら たくや/経営学部教授)

現在から見ると、かなり昔に書かれた、それも中学生が主人公の、押しつけがましいタイトルがついた本ですが、今でも読む価値はあると思います。主に、新入生と3年生の皆さんに推薦します。

元々は、1937年の戦争前夜に出版された本です。基本的にはティーンエイジャーに向けた人生読本ですから、様々な出来事に遭遇する主人公に対して、彼の叔父さんが「常に自分の体験から出発して正直に考えてゆけ」と諭す、まあ教訓的な内容です。おそらくあつという間に読めるでしょうし、ずいぶん子供っぽくて説教臭い本だと思うかもしれません。

しかし、巻末についている政治学者・丸山眞男氏の「回想」(追悼文)を読んでみて下さい。本書が、いかに周到に準備され、深い内容を持っているかが

分かります。これを読むと、一冊の本から何が得られるか、実は読む側が試されているのだということが理解できるでしょう。入学後は、自ら読み、考え、学ぶことが求められる新入生の皆さんに、ぜひ最後まで読んでいただきたいと思います。

では、なぜ3年生にもお薦めするのか。ちくまブリマー新書の中に、中沢孝夫著「就活のまえに—良い仕事、良い職場とは?—」という良書があります。その中に、「説明できる自分があるか」という章があり、自分を充実させるための読書の重要性が指摘されています。その候補の一冊として、この本が挙げられているのです。ですから、就活対策としても役立つかもしれません。就職委員としてご参考まで。

私が薦める  
この1冊

『古事記』

文=瀬戸治

(せと おさむ/工学部准教授)

私のことを知っている人は、理論物理学を専門とするバリバリの理系人間が、日本の古典的書物であるこの本を紹介していることを不思議に思われるかもしれない。これには、極めて個人的な経験が影響しています。振り返ってみると、古事記に興味を持ったのは、何年もヨーロッパに住んでいたこと、学会出席のためにエジプトやギリシャなどを訪問したことがきっかけになったと思う。多くの国にその国固有の神話や伝説・天地創造の物語があることを実感したときに、日本人として日本のそれを知りたいと思ったのです。

いざ読んでみると登場人物の多さとその名前に、外国文学を読む時についている登場人物表が欲しくなることも多々ありましたが、天照大神とか日本武尊、イザナギなど有名な人物が登場してしまえばそんなことはたいした問題ではなかった。現代語訳のもの、原文注釈付きのものなど数種類が出版されているので、自分に合ったものを探し、古代口マンに浸り日本に対する造詣を深める読書はいかがですか? 今度神社に参詣に行く時、御神体に親近感が湧くかもしれませんよ。

# 図書&視聴覚資料

## 2010年度貸出ランキング

本の貸出

2010年度ランキング

1~3位

※文字情報：上から 書名、出版社、著者、請求記号、資料ID

期間：2010年4月1日～2011年1月31日

1位

貸出回数 31回



「ならば」を  
めぐって  
法学書院  
鈴木美佐子著  
116/SUZ/1  
0534103 他3冊

2位

貸出回数 24回



SOSの猿  
中央公論新社  
伊坂幸太郎著  
913.6/ISA  
0745060 他1冊

3位

貸出回数 23回



会社法・商法・  
商業登記法  
早稲田経営出版  
山本浩司著  
327.17/YAM/7  
0746146 他1冊

3位

貸出回数 23回



Nのために  
東京創元社  
湊かなえ著  
913.6/MIN  
0746881

3位

貸出回数 23回



告白  
双葉社  
湊かなえ著  
913.6/MIN  
0572568

本の貸出

2010年度ランキング 6~18位

順位	書名	出版社名	編著者名	請求記号	資料ID	貸出回数
6	1Q84 book	新潮社	村上春樹著	913.6/MUR/3	0748385	22
	阪急電車	幻冬舎	有川浩著	913.6/ARI	0641392 他1冊	
	ガリレオの苦悩	文藝春秋	東野圭吾著	913.6/HIG	0573306	
	ゴールアンスランパー	新潮社	伊坂幸太郎著	913.6/ISA	0566046 他1冊	
	聖女の救済	新潮社	東野圭吾著	913.6/HIG	0573305 他1冊	
11	もし鳥放野郎の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら	ダイヤモンド社	岩崎夏海著	913.6/IWA	0746800 他1冊	21
	1Q84 book 2	新潮社	村上春樹著	913.6/MUR/2	0740398	
	フリーター、家を買う。	幻冬舎	有川浩著	913.6/ARI	0743438	
	ケン	新潮社	有川浩著	913.6/ARI	0746787	
	地域経済発展と労働市場：転換期の地域と北海道	東洋館書店	奥田仁著	332.11/OKU	0266177 他5冊	
18	バラドックス13	毎日新聞社	東野圭吾著	913.6/HIG	0579745 他1冊	20
	カッコウの卵は誰のもの	光文社	東野圭吾著	913.6/HIG	0746880 他1冊	
	面接の虎：自分の軸となる考え方を具体的に伝える表現術	日本シナプス	就職総合研究所編	//就	0621082 他3冊	
	あるキング	徳間書店	伊坂幸太郎著	913.6/ISA	0743442	
	金融システムと信用恐慌：信用秩序の維持とセーフティ・ネット	日本経済評論社	小林真之著	338/KOB	0255682 他5冊	
18	図書館革命	メディアワークス	有川浩著	913.6/AR	0563833 他1冊	20
	死神の精度	文芸春秋	伊坂幸太郎著	913.6/ISA	0546663 他1冊	
	ハリリー・ポッターと賢者の石	静山社	J. K.ローリング作；松岡佑子訳	933/ROW	0256353 他4冊	
	キャッチャー・イン・ザ・ライ	白水社	J.D.サリンジャー〔著〕；村上春樹訳	933.7/SAL	0393972 他1冊	
	現代国家と民主政治：現代政治への基本視点	北樹出版	山本佐門著	311/YAM	0544701 他1冊	
総則・物権	自由国民社	柴田孝之著	324/SHI/1	0566121		

図書館の今が分かる！出ました！貸出のランキングです。2010年4月1日～2011年1月31日の期間の貸出回数を基に集計をしました。授業に役立つ図書や、見逃せないあの視聴覚資料もありますよ！読んで見て損はない、注目のランキングです！要チェック！！

## AV資料貸出

### 2010年度ランキング 1～5位

期間：2010年4月1日～2011年1月31日

**1位** 貸出回数 83回



ハリー・ポッターと謎のプリンス  
ワーナー・ホーム・ビデオ（発売）

**2位** 貸出回数 54回



経済原論：地上国II主要5科目入門マスター 第2回  
LEC東京リーガルマインド

**3位** 貸出回数 53回



カイジ：人生逆転ゲーム 豪華版  
バップ（発売）

**4位** 貸出回数 51回



クロースZERO II  
TBS（発売）

**5位** 貸出回数 48回



経済原論：地上国II主要5科目入門マスター 第1回  
LEC東京リーガルマインド

## AV資料貸出

### 2010年度ランキング 6～28位

順位	タイトル	出版社名	貸出回数
6位	カールじいさんの空飛ぶ家	ウォルト ディズニー スタジオ ホーム エンターテインメント（発売）	45
7位	経済原論：地上国II主要5科目入門マスター 第3回	LEC東京リーガルマインド	43
8位	僕の初恋をキミに捧ぐ メモリアル・エディション	バップ（販売）	40
9位	経済原論：地上国II主要5科目入門マスター 第4回	LEC東京リーガルマインド	39
	重力ピエロ【特別版】 ベンジャミン・バトン：数奇な人生 Two-disc special edition	ワーナー・ホーム・ビデオ（発売）	
12位	アバター	20世紀 フォックス ホーム エンターテインメント ジャパン（発売）	37
13位	そんな彼なら捨てちゃえば？	ワーナー・ホーム・ビデオ（発売）	36
	天使と悪魔 コレクターズ・エディション トランスフォーマー3：アンリミテッド	ソニー・ピクチャーズエンタテインメント（発売） アスミック：テレビ朝日（発売）	
16位	蛇にピアス なくもんか	ミュージソフトエンタテインメント（販売） バップ（発売）	34
17位	This is it: Michael Jackson's ターミネーター4 コレクターズ・エディション	ソニー・ピクチャーズエンタテインメント（発売） ソニー・ピクチャーズエンタテインメント（発売）	33
20位	経済原論：地上国II主要5科目入門マスター 第5回	LEC東京リーガルマインド	27
21位	G.I.ジョー	パラマウントジャパン（発売）	26
	パブリック・エネミーズ	ジェネオン・ユニバーサル・エンターテインメント（発売）	
	アマルフィ：女神の報酬	フジテレビジョン（発売）	
	Toy story	ブエナビスタホームエンターテインメント（発売）	
26位	ジェネラル・ルージュの凱旋	TBS（発売）	25
	Toy story 2 マンマ・ミーア！	ブエナビスタホームエンターテインメント（発売） ジェネオン・ユニバーサル・エンターテインメント（発売）	
28位	インスタント沼 ミラクル・エディション	角川映画（発売）	24
	経済原論：地上国II主要5科目入門マスター 第6回	LEC東京リーガルマインド	

初めての  
人のための

# 図書館利用ガイド

～大学の図書館ってどんなところ？～

## 「最初の一步」をお待ちしています

大学の図書館を初めて利用するとき…よくわからなくて、入りづらそう、そんな風に思う人は決して少なくないはずです。最初はみんな「未知」ですから。でも「未知」は、一度体験すれば「既知」になります。躊躇しないで、図書館に足を踏み入れてみませんか？  
大学の図書館は情報の宝庫です。あらゆる「未知」が「既知」になったとき、きっとみなさんの「力」や「癒し」になることがあるはずです。まずは最初の一步を踏み出しましょう。  
ぜひ図書館を利用して、体験してみてください。

## 1. 北海学園大学附属図書館の特徴は？



### ◆90万冊に及ぶ蔵書冊数

**図書、雑誌** ～専門的なものから一般的なものまで幅広く大学の図書館ですので、たくさんの専門書が書棚に並んでいるのは当然のことですが、それだけではなく、文庫や新書、小説、各種試験問題集などのほか、様々な分野の一般書も数多く取り揃えています。また、雑誌のタイトル数は9,000種を超え、特に利用頻度の高いもの以外は書庫に収蔵しています。



**AV資料** ～図書館で最新映画DVDが見れる！映画やドキュメンタリーなどを中心とした「AV資料」（視聴覚資料）を目的に図書館に足を運ぶ人もたくさんいます。講義と講義の空き時間を利用した映画鑑賞はオススメです。なお、視聴覚資料は館外への貸出ができませんので、館内の「AVブース」で視聴してください。



**電子資料** ～オンラインで新聞や雑誌が読める！例えば新聞を読みたいとき、図書館では用途に応じていくつかの手段があります。一番ポピュラーなのは原紙、もしくは縮刷版を読むことですが、オンラインデ

ータベースや電子ジャーナルなどの新聞を利用すれば、記事検索や記事のダウンロードが行える場合もあります。電子資料は、館内の「PCブース」（工学部図書室は、サービス・カウンターにお尋ねください）で利用できます。



### ◆夜遅くまで利用できる

2部（夜間部）学生や大学院生も利用しやすいよう、図書館は朝から晩まで開館しています。

開館時間	本館	月～金曜日	土曜日
		2F・3F閲覧室	9:00～22:00
	1F自由閲覧室	9:00～22:30	9:00～22:30
	工学部図書室	9:00～20:00	9:00～15:00

## 2. 本はどうやって探すの？ どうやって借りるの？



### ◆OPACを使って検索する





「OPAC」(Online Public Access Catalog)とは、本学の図書館にどんな資料が所蔵されているのかをパソコンで検索するシステムのことで、館内設置機(本館9台/工学部図書室2台)のほか、図書館のホームページ(<http://library.hokkai-s-u.ac.jp/cgi-bin/tosyokan/index.cgi>)を利用して館外からも検索できます。

### ◆学生証で貸出手続き

貸出手続きはサービス・カウンターで行います。借りたい図書と一緒に学生証を係員に提出してください(Ⓜ学生証を忘れてしまった場合は、貸出手続きが行えません)。

	図書区分	貸出冊数	貸出期間	貸出延長(回数・期間)
学部生	開架・閉架	5冊	15日間	1回・15日間
	開架	5冊	15日間	1回・15日間
大学院生	閉架	制限なし	90日間	制限なし・90日間

- ※ 閲覧室内にある資料を「開架(資料)」、書庫内にある資料を「閉架(資料)」といいます。
- ※ 辞書・事典類など、館外への持ち出しを禁止している「禁帯出資料」(資料の背に赤い丸シールが貼ってあります)は貸出できません。
- ※ 雑誌は原則として貸出できませんが、バックナンバー数号分を一冊にまとめた「製本雑誌」に限り、貸出できます。

## 3. 探しても見つからない本はあきらめるしかないの?



### ◆レファレンス・カウンターを活用する

「レファレンス」とは、利用者の求めに応じて担当係員が調査・研究の手助けをするサービスです。図書館の利用に関するあらゆる質問への対応のほか、本学の図書館にない資料の入手方法についても相談に応じています。なお、レファレンスは本館2Fレファレンス・カウンター、工学部図書室サービス・カウンターでそれぞれ取り扱っています。



### ◆購入希望図書を申し込む

読みたい本が図書館にない場合は、「購入希望図書ポスト」(本館3F)に備え付けてある「購入希望図書申込書」を記入してこのポストに投函するか、サービス・カウンターにて同様の手続きを取ることができます。

## 4. なんとなく分かったけど、使いこなせるか心配……。



### ◆図書館利用ガイダンスに参加する

図書館を利用する中でもし何か分からないことがあれば、図書館の係員に質問することが一番早い解決策です。しかし、漠然とした不安を抱えているときには、何を聞けばいいのかわからないことがあります。そんなときは、「図書館利用ガイダンス」に参加してみましょう。

#### どうやって参加するの?

・まずは、自分の所属するゼミの先生に聞いてみましょう。ゼミでは、学年に応じて次の2つのガイダンスに参加することができます。

#### オリエンテーション(4月~5月)

新入生を対象に、図書館の基本的な利用方法を説明します。

#### 文献検索セミナー(6月~12月)

オリエンテーション受講者相当の基礎知識を持つ学生を対象に、必要な文献を入手するためのツールを説明します。

・ゼミに所属していない、もしくは所属するゼミで図書館利用ガイダンスに参加する予定がないといわれたのですが……。

⇒ 大丈夫です。そんなときは次のガイダンスに参加することができます。

#### サポートセミナー(不定期開催)

ゼミで参加できる2つのガイダンスとほぼ同じ内容を説明します。4月~5月にかけてオリエンテーション、6月以降に文献検索セミナーを予定していますが、詳しくは図書館ホームページやポスター等にてご確認ください。



# データベース紹介

## 新聞編

本学図書館のHPでは、様々なデータベースが利用できます。大学内はもちろんのこと、在学生なら自宅からでもオンラインデータベースに接続できます（学内ネットワーク用のIDとパスワードが必要）。今回はその中から新聞のデータベースを紹介します。インターネットで自由に利用できる各新聞社のHPでは、最近のニュースの閲覧はできますが、過去の記事を検索することができません。一方、新聞のデータベースは、過去何十年も前の新聞記事を検索できます（各データベースで調べられる年が異なります）。

### 【新聞データベースタイトル一覧】

- ・日経新聞オンラインデータベース：日経テレコン21
- ・朝日新聞記事データベース：聞蔵II
- ・読売新聞記事データベース：ヨミダス歴史館
- ・毎日新聞記事データベース：毎索
- ・北海道新聞データベース

### オンラインデータベースへの接続の仕方



1 図書館のホームページを開く。

2 「電子情報サービス」の中にある「学術文献データベース」をクリックする。

3 一覧から利用したいデータベースを探し、名称をクリックする。

### 【データベース例：日経テレコン21】



つづきはWebで

こんなページもご覧になれます！



各データベースに入ると検索の方法はとてもシンプルです。検索窓に調べたい事（検索例：電子ブック など）を入力し、検索のボタンをクリックすれば、検索結果が表示されます。

多数の新聞記事検索データベースがありますので、各紙の読み比べができます。また、データベースごとに特徴がありますので様々な知識の探求ができ、レポート作成やゼミの論文作成にも必ず役立つと思います。是非利用してみてください。

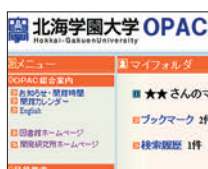
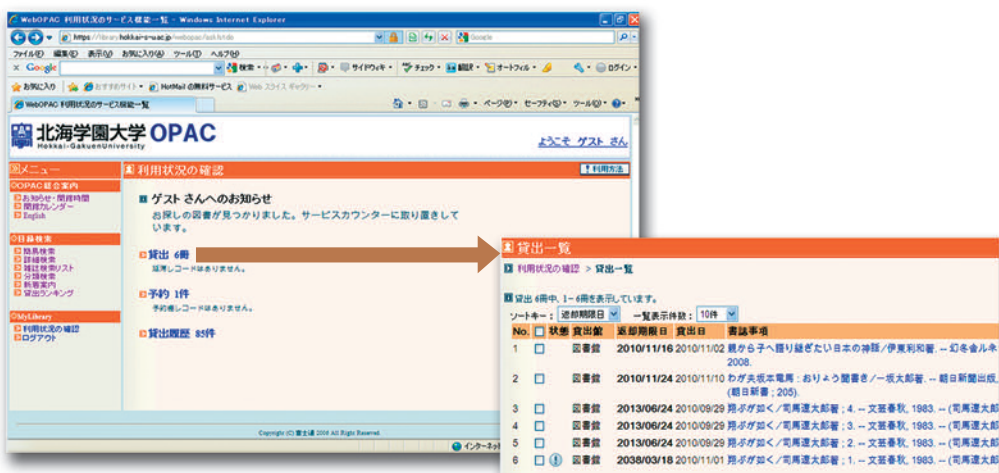
### データベース利用上の注意

- 同時接続数に制限のあるデータベースがあります。うまく接続できなかった場合は、しばらく経ってから再度試してみてください。
- データベースの利用を終了する際は、必ずログアウトを行ってください。ログアウトの仕方がよくわからないときは、図書館職員にお尋ねください。

# MyLibrary

「MyLibrary」(マイライブラリー)に接続すると、ご自分の貸出状況や予約状況、貸出履歴※をチェックしたり、OPAC検索条件を保存したりすることができます。(※2010年9月14日以前の履歴は出ません)

図書館内での忘れ物、貸出延滞、予約資料の確保などの情報が表示されますので、ぜひご活用ください。



「ブックマーク」「検索履歴」のいずれも、OPACの「書誌検索結果一覧」や「書誌詳細」画面で登録した情報が確認できます。

## 〈利用条件〉

- 学内ネットワークのIDとパスワードをお持ちの方

## 〈接続方法 (2種類)〉

- G-PLUS! にログインし、サイドバーの「MyLibrary」をクリック
- 図書館ホームページの「蔵書検索」画面から「MyLibrary」ログインをクリック

## 「MyLibrary」はG-PLUS! と連携しています

G-PLUS! で返却期限日や予約資料確保のお知らせなどのメッセージが受信できます。「MyLibrary」とあわせてご確認ください。

# 宝物探し

文=張 健華

(ちょう けんか)

大学院 文学研究科 博士(後期)課程3年

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！  
皆さんはどのような大学生活を夢見ていますか。  
私が大学を出たのは10年前ですが、今考えてみると、大学は神秘の御城のような場所でした。

神秘と言うのは、この御城が個々人の歩み方によってその広さ、深さが変わってくるからです。毎日着実に翼を鍛えていく人には、もっと高く、もっと遠く飛べるように、更に更に御城の空間が広がっていきます。

また、この御城には、出口まで決まった通路はありません。いろんな道の中で己に適切な道はどれなのか、常に考える必要があります。もしかしたらここで運命の道と出会えるかも知れません。

また、この御城には宝物が沢山隠れています。い

ろんな夢を持ってみて、いっぱい考え、沢山経験し、人が歩いていないところでも果敢に歩いてみる……そうしているうちにどんどん新しい宝物に出会えると思います。宝物とは、皆さんが未だ知り得ない、己の内に秘めた創造力・思考力・行動力のことで、卒業後の人生を様々な形で助けてくれるでしょう。

当然ながら道に迷うときだって、壁にぶつかることだって、あると思います。が、そういった時は図書館という魔法の棒を使ってみてください。この魔法の棒は使いこなせば、次から次へと宝物の隠れている場所を指してくれるはずですよ。

4年という時間は、あっという間ですよ。

4年が過ぎた今頃、あなたの両手にどれだけの宝物が入っているのか楽しみですね。

## 図書館からの お知らせ

### 第54回図書館展示『山小屋文庫展』

図書館展示『山小屋文庫展』を下記の日程で開催します。

期間：2011年4月1日～2011年9月30日

場所：図書館本館1階展示コーナー

是非、一度ご覧にきてください。

## 編集後記

みなさん貸出ランキングご覧になりましたか。図書やDVDのランキング…どれも聞いたことのあるタイトルがならんでいたのではないのでしょうか。図書館は他に雑誌も多く所蔵しています。原則館内での閲覧となりますのでランキング集計はできませんが、雑誌だって紹介したい!! そんな私が勝手に人気だと思ふ雑誌トップ3を紹介します!!

第1位『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社)

日本の景気や社会問題、話題のニュースが学べます。パツ

クナンバーも豊富ですよ!

第2位『Poroco』(コスモメディア)

札幌周辺のグルメ情報満載ですよ! 名店を発見しよう。

第3位『受験ジャーナル』(実務教育出版)

公務員希望者必見ですよ!! 試験勉強にも役立ちますよ。

そのほかにもたくさんの雑誌を揃えています。最新号が届き次第すぐに並べていますので、みなさん図書館まで足を運んでみてください。きっとお気に入りの雑誌が見つかりますよ。